

寓言

梦野久作

(翻译 萩田丽子)

1 跳蚤和蚊子

炎夏的一天，一个懒汉正在睡午觉，跳蚤和蚊子轮流来咬他。

他发火了，大声斥责说：“你们这两个家伙，就不能让我好好睡一会儿吗！”

跳蚤和蚊子异口同声地回答，“我们最喜欢你这样总是躺着的人，如果你不想让我们靠近，就起来勤勤恳恳地劳动吧！”

蚤と蚊

夏の暑い日になまけものがひるねをしておりますと、蚤と蚊が代る代るやって来て刺したり食いついたりしました。

なまけ者は怒りだして、「折角ひとが寝ているのに何だっていたずらをするのだ」と叱りつけました。

蚤と蚊とは声をそろえて答えました。

「私たちはあなたのように寝ころんでいるなまけものがすきなのです。私たちに好かれないようになりたいならば、起き上ってセッセとお働きなさい」

2 怀表

一块怀表掉到了衣柜后边，还在滴答滴答不停地走。

一只老鼠看到他的样子，笑着笑：

“你真傻！没人看你，还不停地走？”

怀表回答：“正是因为没有人看的时候也不停息地工作，所以人们才能知道正确的时间呀。在别人看不到时候做手脚的是小偷，只在别人能看到的时候工作的也是小偷。”

老鼠听了以后觉得很不好意思，默默地走开了。

懷中時計

懷中時計が^{たんす}箆笥の向う側へ落ちて一人でチクタクと動いておりました。
鼠が見つけて笑いました。

「馬鹿だなあ。誰も見る者はないのに、何だって動いているんだえ」

「人の見ない時でも動いているから、いつ見られても役に立つのさ」と懷中時計は答えました。

「人の見ない時だけか、又は人が見ている時だけに働いているものはどちらも泥棒だよ」

鼠は恥かしくなってコソコソと逃げて行きました。

3 铅笔芯

一个小孩很用力地削铅笔，铅笔芯断了好几次。

他不满地说：“是这把小刀儿不好！”

于是，他把小刀儿磨了磨，又开始使劲地削。可是铅笔芯又断了。

“是这枝铅笔不好！”他生气地把铅笔折断，说：“我要换好的铅笔！”

被他折断的铅笔说：“你要不把你的心换成好的，买多么好的铅笔也没用！”

鉛筆のシン

子供が鉛筆を削っているとあまり無茶に削るので何べんでもシンが折れました。

「このナイフがわるいのだ」と子供は言ってナイフを磨いでコシコシ削りましたが、やっぱりポチポチと黒いシンが折れます。

「この鉛筆がわるいのだ」と子供はカンシャクを起して鉛筆を折ってしまいました。

「もっといい鉛筆でなくちゃ駄目だ」

鉛筆は折られながら言いました。

「あなたの心をもっといいのにとりかえなくちゃ、いくらいい鉛筆を買ってもだめです」

.....

夢野久作（1889-1936）：小説家、詩人、禅僧、元陸軍少尉。探偵小説で怪奇色と幻想性の色濃い作風の『ドグラ・マグラ』の作者として有名。「鉛筆のシン」は香俱土三鳥、「蚤と蚊」「懐中時計」は土原耕作というペンネームで書いている。

